



協定書にサインする土野市長(左)と飛驒森林管理署長

豊かな水源の森を学びの場へ開放!

「源流の森」高山市と飛驒森林管理署が協定を締結

宮川源流部に位置する国有林の一部を、市内小中学生や保護者の体験学習などに開放する協定が4月7日、市と地内を管理する飛驒森林管理署との間で結ばれました。

開放された国有林は約124haで、アカマツやケヤキなど豊かな森が広がっています。この協定の締結によって、森林観察や源流探検、ま

たツリークライミングといった森に親しむ活動が気軽に楽しめることとなり、学校や地域における活動の幅が広がることになりました。

なお、森の愛称を市内小中学生から募集した結果、関杉圭吾さん(宮中2年)の「源流の森」が選ばれました。

問合せ先

一之宮支所基盤産業課
☎53-22211

新しい国際交流員に ザンリーファ 張麗花さんが着任

新しい国際交流員として張麗花さん(中国雲南省出身)が4月10日着任しました。

張さんは、早稲田大学などに留学した後、雲南大学で日本語を教える准教授で、今まで市が招致した国際交流員にも教え子がいるとのこと。着任にあたり、「地方自治を研究し日本の文化を幅広く学び、両国の交流を深めたい」と、流ちょうな日本語で抱負を語りました。

なお、張さんが講師を務める中国語市民外国語講座は5月から開講予定です。



「れいかさんと気軽に声をかけてください」と話す張麗花さん

問合せ先

秘書国際室
☎35-3130



土野市長に受賞報告する井口さん

「家庭の日」絵画ポスター展

井口さんが最優秀賞を受賞

(社)青少年育成国民会議が主催する「家庭の日」絵画・ポスター展で、斐太高校1年の井口真由香さん(当時東山中3年)が最優秀賞を受賞、4月7日には市長に喜びの報告をしました。

このコンクールは、同会議が進める「家庭の日(毎月第3日曜日)運動を盛り上げる一環として平成元年から開催されているもので、井口さんの作品は、5千点あまりの応募

があつた県審査を経て、中学校代表の2点として全国会議へ推薦、各県の代表作品45点中の最高位受賞となったものです。

県内中高生としては初の快挙に「こんな賞を受賞できると思わなかっただけにうれしです。作品の空の色を出すのに苦労しました」と話す井口さんに、土野市長も「これからもぜひ頑張ってください」と激励しました。



温かい家族の雰囲気を描いた作品